

桜井市立小中学校適正化実施計画（前期）にかかる地域説明会（初瀬地区）
会議録

1 日 時

令和4年 11 月 24 日（木）19:00

2 場 所

初瀬小学校体育館

3 出席者

- （1）初瀬地区住民 25 名
- （2）市教育委員会事務局 6 名

4 資料

- ・桜井東中学校区における学校統合について
- ・質問書

5 内容

（1）開会の挨拶（上田教育長）

（2）概要説明（教育総務課）

（3）質疑応答

質 問 者：今回の説明会を開催するまでに、桜井東中学校区の人に説明したことがあるか。

事 務 局：地域住民に広く説明をすることは初めてです。事前に区長には説明をさせていただきました。

質 問 者：事前に区長に説明したことは聞いているが、内容に食い違いがあるように思う。区長は、小中一貫校の設置や桜井東中学校敷地を利用することについては理解していたが、学校施設の改修工事を行うと理解されていた。実際は、改修工事を行うか、建て替えを行うかはまだ検討段階である。今後、このような認識の違いがあれば、話を進めるうえでスムーズにいかない場合が出てくる。今後は、説明に関しては注意していただきたい。

事務局：誤解のない説明をするよう努めていきます。

質問者：建物の工事について開校2年前から工事を行うとのことであるが、桜井東中学校の生徒が朝倉小学校に移動をするのか、校舎の一部を利用するのかは、どこまで決定しているのか。

事務局：「建て替えか、建物を利用するか」については、早い段階で建物に関する調査を行い、決定したいと考えています。現在の建物を建て替えまたは長寿命化する場合は、桜井東中学校の生徒は、朝倉小学校に通学することになります。新築の場合は、運動場に建てるという方法もあります。その場合は桜井東中学校校舎を利用できます。

質問者：まだ不透明な部分があると思うが、建て替えであるのか、長寿命化とするのかは、大体いつ頃に決定するのか。

事務局：遅くとも令和7年度には確定しますが、なるべく早い段階で建物の調査を行い、結果について示していきます。

質問者：初瀬小学校の全児童は令和4年現在62名で、1学年あたり十数名である。このような減少傾向が数年続いていたにも関わらず、もう少し早い段階で小中一貫校の話を進めることはできなかったのか。

事務局：桜井市の学校のあり方についての基本方針を策定したのが平成30年度です。それから基本計画を定め、令和3年度に検討委員会から答申を頂いた流れになっています。着地点をもう少し早くすれば良かったという思いもありますが、ご理解を頂きますよう、お願いします。

質問者：桜井東中学校は浸水警戒区域となっているが、災害で天川村の児童生徒が被害を受けた事例もある。初瀬小学校は裏が山であり危険な地域である。予算が必要ではあるが、安全面については十分に考えていただきたい。計画が少しでも早く進められるようにすることはできるのか。できる限り早めに進めて公表していただきたい。

事務局：開校までのスケジュールについては、計画にかかる時間を考慮して決定しています。子どもたちになるべく良い状況で教育を受けさせたいと考えていますので、早く進められる部分は進めていきます。

質問者：桜井東中学校敷地に新校舎を建設するということだが、大和川や初瀬川が氾濫した場合のことをどれくらい想定しているのか。さまざまな災害が考えられるので、想定外の事態も考えているのか。

事務局：洪水対策について、どのような対策を取るかは近年の事例を鑑みて想定していかなければならないと考えています。
洪水対策の事例として、高床式の校舎にすることや、職員室や教室を2階に配置する等、十分な対策を研究し、災害に強い施設をつくっていきたいと考えています。

事務局：ご質問はほかにございませんでしょうか。
それでは、以上をもちまして、説明会を終了させていただきます。
本日は、ご多忙の中、ご来場いただきまして、誠にありがとうございました。

以 上